



## 師 走

師走(12月)は、師が走ると書くように、おし詰った年の瀬を迎え、人々が何かと慌ただしく東奔西走、忙しく走り廻る季節である。12月の行事を拾ってみると、1日は映画の日。斜陽産業と言われながら、最近では復興の兆しがある。14日は赤穂義士47士の吉良邸討入りの日。この実に日本的なドラマは過去に何回となくドラマ化・映画化され、これをやれば必ずヒットするという風に、日本人の心の琴線に触れて離さない。22日は冬至。この日には柚湯に入ったり、かぼちゃを食べる風習がある。23日は昭和天皇の崩御により皇太子殿下が即位し天皇誕生日となった。24日はクリスマスイブでこの日ばかりは日本中が「クリスマス今宵一夜はクリスチャン」といった観を呈する。28日は官庁御用納め。そして、31日は平成元年のフィナーレで、大勢の人が年越しそばを食べ、日本の民俗の行事と言われる紅白歌合戦を観て、除夜の鐘を聞きながら新年を迎える。

## 12月のおもな行事

- 5～6日 統計事務改善研究会(常陸太田市)
- 7日 水戸市登録調査員研修会(水戸市)
- 7～8日 国調地方別調査区設定検討会(秋田県)
- 8日 都市統計事務協議会事務研修会(つくば市)
- 14～18日 グラフコンクール入選作品展示(水戸・川又書店)
- 11・14・18日 農林業センサス担当者会議(大洗町、土浦市、大子町)
- 20日 小売物価消費者物価統計調査員合同事務打合せ会(水戸市)
- 22日 全国消費実態調査事後報告会(水戸市)